



## ロボカップジュニア日本大会 2014 埼玉大学

### － 大会概要 －

#### 1. 名称

ロボカップジュニア日本大会 2014 埼玉大学

#### 2. 主催等

主催：ロボカップジュニア日本大会 2014 埼玉大学 開催委員会

※ 構成団体： 特定非営利活動法人 ロボカップ日本委員会

一般社団法人 ロボカップジュニア・ジャパン

後援：埼玉大学、埼玉県教育委員会、埼玉県 PTA 連合会、さいたま市（予定）

特別後援：独立行政法人科学技術振興機構 国際科学技術コンテスト支援事業

協賛：（現在募集中）

#### 3. 目的

世界大会（RoboCup 2014・João Pessoa・Brazil）への日本代表チームの選抜

日本国内のロボカップーおよびロボカップジュニア運営者、指導者の交流

#### 4. 日程・スケジュール

2014年3月21日（金・祝） 会場準備、ジュニアジャパン理事会、総会

2014年3月22日（土） 開会式、大会第1日目

2014年3月23日（日） 大会第2日目、表彰・閉会式

#### 5. 会場

埼玉大学 教育学部 A 棟、C 棟、G 棟 総合研究棟

※ 住所：埼玉県さいたま市桜区下大久保 255

#### 6. 種目および参加チーム数

世界大会選抜対象： サッカー（B ライト・B オープン） ..... 100 チーム

レスキュー（A・B） ..... 48 チーム

ダンス ..... 28 チーム

CoSpace（レスキュー・ダンス） ..... 20 チーム

国内大会のみ： サッカー独自リーグ（旧 A ライト） ..... 40 チーム

（計 236 チーム）

#### 7. 来場予定者数

参加者 700 名（小中高校生 480 名、指導者 220 名）、一般来場者 350 名

#### ■ お問い合わせ先

ロボカップジュニア日本大会 2014 埼玉大学 開催委員会 事務局

一般社団法人 ロボカップジュニア・ジャパン / ロボカップ日本委員会 事務局

E-mail: osaka@robocup.or.jp Tel: 06-6376-2963 Fax: 06-6372-5025

〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-20-1 インターG ビル内

以 上

(参考)

### 特定非営利活動法人ロボカップ日本委員会

ロボカップフェデレーションの下で、日本国内でのロボカップの広報および研究活動促進を目的とする内閣府所轄のNPO。

### 一般社団法人 ロボカップジュニア・ジャパン

ロボカップ日本委員会、ロボカップフェデレーションの下で、日本国内での特にロボカップジュニアの活動を支える団体。これまで、特別非営利活動法人 ロボカップ日本委員会の一部門であったが、ジュニア活動の拡大に伴い2014年2月、一般社団法人として独立。現在に至る。

また、ロボカップジュニアの活動は、文部科学省所管科学技術振興機構（JST）の国際科学技術コンテスト推進事業の支援対象として指定され、事業委託を受けている。

### 特定非営利活動法人 ロボカップフェデレーションジャパン（RoboCup Federation）

ロボカップは、2050年までに人間のワールドカップチャンピオンチームと対戦して勝つことができるヒューマノイドロボットサッカーチームをつくることを目指して、日本のロボット研究者（ソニーCSL 北野宏明氏、大阪大学 浅田稔教授、東京大学 國吉康夫教授）が中心となり1997年から本格的な活動を始めた国際的なロボット研究教育活動。

ロボカップフェデレーションは、その活動を支える団体としてスイスに登記された国際的なNPO活動法人。一般市民にも分かりやすいサッカーを題材にロボット技術のベンチマークとして取り上げることで、2050年の未来においてロボットと人間が共生する社会の実現を目指している。現在、サッカーだけでなく次の領域に対象を広げ、研究開発と啓蒙教育活動に取り組んでいる。

**RoboCupSoccer :** ロボカップの目標達成をめざし自律分散協調型ロボットによるサッカーロボットチームの研究開発

**RoboCupRescue :** レスキュー隊とともに人命救助を支援する高い踏破性、可搬性を持ち地図作製や複雑な環境下での合意形成を半自動人間協調型レスキューロボットの研究開発

**RoboCup@Home :** 家庭、公共の場における日常的な人間の活動を支援する自律的でヒューマンフレンドリーなロボットの研究開発

**RoboCupJunior :** 最先端の研究者と目的を共有する自律型ロボットづくりを通して、科学技術専門教育を進めると同時に、科学技術社会の未来を主体的に考えることのできる市民教育を目指す教育研究活動。そのため、19歳までのこどもたちが参加できる次のカテゴリのロボットコンテストを開発、実施している。

- ・サッカー： 2台対2台の自律型ロボットによるサッカー競技
- ・レスキュー： 被災地に見立てたフィールド内をラインレースや障害物回避をしながら要救助者を探索、救助する競技
- ・ダンス： 音楽に合わせてロボットが演劇やミュージカルのように演技やパフォーマンスをする競技
- ・CoSpace： 仮想空間上のフィールドやステージでよりリアルなレスキュー活動やダンスパフォーマンスを行う競技